

令和4年度「読書活動総合推進事業」

課題

- 授業実践の際に、学校図書館の有効的な活用ができていない。
- 学校図書館の整備や読書活動支援員と協働した活動が進んでいない。
- 児童の読書に対する関心に個人差があり、読書量が不足している。

事業のねらい

- 学校図書館の機能を校内研究に位置付け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。
- 読書活動支援員と連携し、学校図書館を有効的に活用する。
- 児童の読書に対する関心を高め読書量を増やす。

取組実施地域・学校の指定

滋賀県彦根市立稲枝東小学校



実施内容

①学校図書館の機能を活用した校内研究



「体育科(高跳び)の様子」

国語科を通じた実践に加え、他教科でも学校図書館の機能を生かした授業研究会を行い授業力の向上を図った。

②読書活動支援員との連携(成果物の掲示)



「成果物展示の様子」

学校図書館に児童が授業で作成した成果物を展示した。読書活動支援員に依頼し、手に取りたいと思えるようなコーナーの工夫を行った。

③読書活動支援員との連携(授業サポート)



「学年本棚や図書一覧表の様子」

読書活動支援員と連携し、学年本棚の設置や単元で使用した図書を一覧表にまとめる取組を行った。

④読書意欲向上を目指した図書館経営の改善



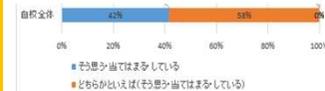
「読書の木の様子」

児童の読書意欲が高まるように書架を工夫したり、読書量を「見える化」したりして、図書館経営を改善した。

成果

- 学校図書館の機能を活用した授業改善  
研究授業を通じた学びを日々の授業に生かそうとする教職員が増えた。

◎校内研究での学びを、日々の授業に生かしていますか。(市)



「彦根市共通アンケート(結果)」

児童アンケート「国語科の授業は分かりやすいか」の項目で児童の肯定的回答は91%であった。

- 支援員との連携による図書館・授業の充実

成果物を学校図書館に設置したことにより、次年度の学習に見通しをもつ児童がたくさんいた。学年本棚の設置により、児童がいつでも本を手に入る環境が整った。使用した図書一覧表の作成は、次年度の該当学年に申し送ることのできる財産となった。



3年生になったらこんな勉強をするんだな!

「上学年の成果物を読む様子」

- 全校貸出冊数の増加

2021年度	7,110冊
2022年度	8,716冊

「全校貸出冊数(4月~12月末)」

### 課題

- 各教科等の指導のために図書資料を使用する機会が少なく、学校図書館の「学習センター」としての機能を十分活用できていない。
- 生徒自らが課題解決に向け、図書資料を活用するなどして自分で考え取り組む学習活動を十分行うことができていない。

### 事業のねらい

- 学校図書館を活用した学習の充実を図り、教科指導等の改善を進め、生徒の「学ぶ力」向上と教員の教科指導力向上を目指す。
- 学校司書と連携した効果的な取組について、情報共有し、校内および町内の学校園全体への普及を図る。

### 取組実施地域・学校の指定

滋賀県多賀町立多賀中学校



### 実施内容

#### ①学校司書と連携した授業づくり



授業者と相談して必要な図書資料を町立・県立図書館から収集したり、生徒の資料選びを補助したりするなど、授業に参画した。

#### ②多様な図書資料の活用



第1学年から第3学年全ての学年において、複数の教科等で図書資料を活用した授業を実施した。画集や古典など多様な図書資料に触れる機会を設定した。

#### ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進



多様な図書資料のなかから、生徒自身が必要なものを選択して学習を進め、異なった資料を選んだ生徒間で学びを交流する場面を設定した。

#### ④町教職員全員研修会を通じての普及



読書活動推進と「学ぶ力」向上の意義と取組の効果について多賀町内の教職員全員を対象に報告し、共有した。

### 成果

#### ○学校司書と連携した各教科等における学校図書館の活用

活用回数	令和3年度	1回
	令和4年度	10回

#### ○自主的・自発的かつ協働的な学習活動の推進



	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
4月	72.5%
12月	89.3%

	授業では、学習に必要なことを、文章や資料から見つけることができている
2021年度	70.0%
2022年度	92.8%